



**PORTATONE**

**PSR-7**

ガイドブック  
取扱説明書

**YAMAHA**

このたびは、  
ヤマハ・ポータートーンPSR-7を  
お買い求めいただきまして、  
誠にありがとうございます。

## この取扱説明書の見方

本書は、PSR-7の豊富な機能、操作方法を理解しやすいように、少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になっています。従って、基本的には前の方から順にご覧ください。また、次のような見方をされるのもアイデアです。

### ●全てをご理解いただいた後は……

“もくじ”のページを開き、目的に合った所をさがす。

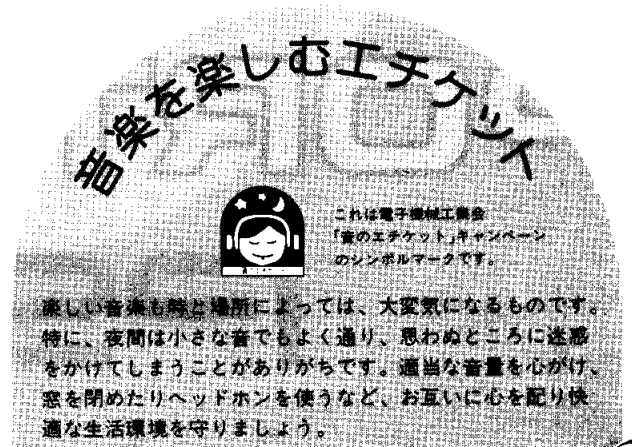
### ●ボタン等のはたらきが分からなくなった時……

“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。

さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを見る。

## おことわり

本書では付属の和文シートを使用されることを前提とし、各部の名称や機能等をなるべく日本語で明記するようにしました。(和文シートについては、2ページを参照)



## もくじ

|                          |     |                            |     |
|--------------------------|-----|----------------------------|-----|
| <b>1. ご使用の前に</b>         | ページ | <b>4. ステップ2(活用編)</b>       | ページ |
| 1. ご注意                   | 2   | 1. フィンガードコードで演奏            | 13  |
| 2. 譜面立ての立て方              | 2   | ・練習曲(ラブ・ミー・テンダー)           | 14  |
| 3. 和文シートの使い方             | 2   | ・フィンガードコード一覧表              | 15  |
| 4. 電源のしたく                | 2   | 2. メロディーを記録させよう(メロディーメモリー) | 17  |
| <b>2. 各部の名称とはたらき</b>     | 3   | ・記録曲の例(聖者の行進)              | 17  |
| <b>3. ステップ1(基本編)</b>     |     | 3. 他の機器と接続するには?            | 18  |
| 1. デモ演奏を聴いてみよう           | 6   | <b>5. 資料</b>               |     |
| 2. 好きな音色で弾こう             | 6   | 1. オプション(別売品)のご紹介          | 19  |
| 3. 音に効果を!(サスティン、デュアルボイス) | 7   | 2. おかしいな?と思ったら             | 20  |
| 4. リズムに合わせて弾こう           | 7   | 3. 仕様                      | 21  |
| 5. 低音側でベースパートの演奏をしよう     |     | 4. 発音数一覧表                  | 21  |
| (マニュアルベース)               | 9   | 5. アフターサービスと保証             | 22  |
| ・練習曲(青い影)                | 9   |                            |     |
| 6. シングルフィンガーコードで楽々演奏     | 10  |                            |     |
| ・シングルフィンガーコード一覧表         | 11  |                            |     |

# 1. ご使用の前に

## 1. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源スイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上に乗らないでください。貼り付いてしまうことがあります。

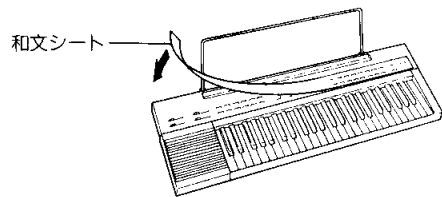
保管してください。



- ・このガイドブックをお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

## 3. 和文シートの使い方

付属の和文シートは粘着テープ式になっています。PSR-7のパネル面に貼り付けてお使いください。和文シートを使用すれば、各部の名称を日本語で読みとることができます。



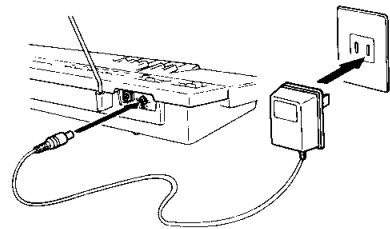
## 4. 電源のしたく

PSR-7は、家庭用コンセントでも乾電池でも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

### 家庭用コンセントから電源をとる場合

付属の電源アダプター・PA-1Bを使用します。図のように接続してください。

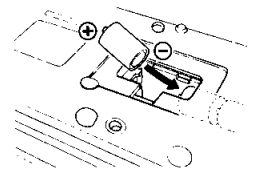
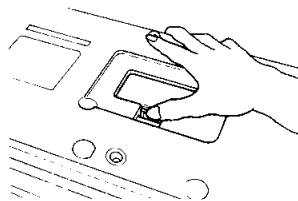
- ①リアパネルにある電源アダプター接続用端子(DC (9-12 V) IN)へ差し込む。



- ②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。  
※他の電源アダプターは使わないでください。

### 乾電池を使う場合

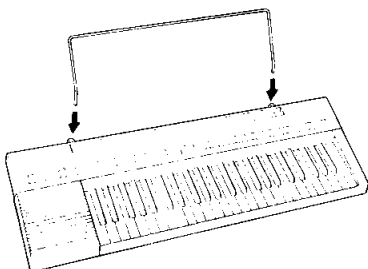
- ①PSR-7を裏返し、電池ボックスを外します。
- ②市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。



- ③乾電池を入れたら電池ボックスを閉めます。
- ※電池が少なくなると、音が歪んだり、誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。お買い求めの際、乾電池は単1乾電池6本とご指定ください。

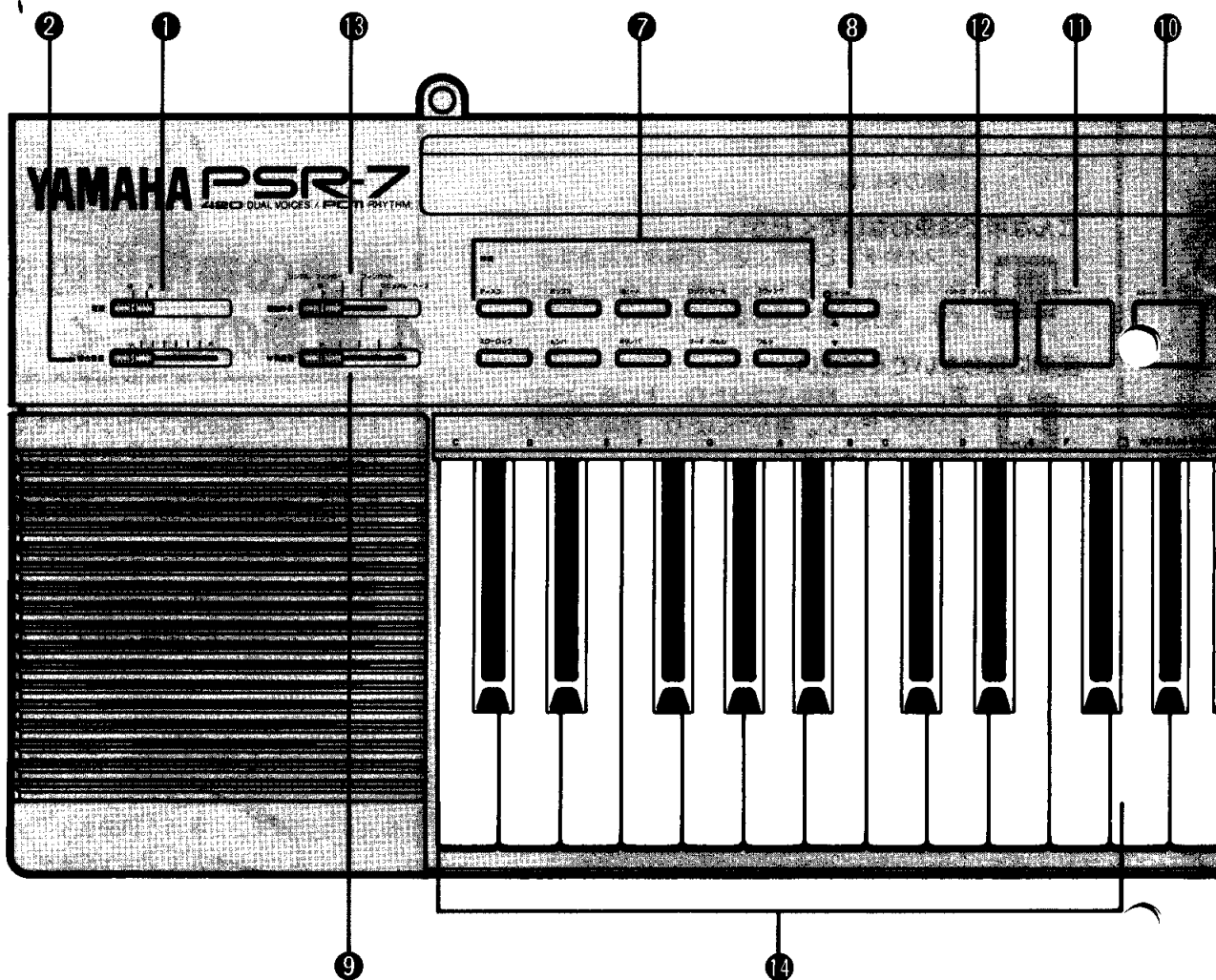
## 2. 譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、PSR-7の背中の部分にある2つの穴にその両端を差し込んでお使いください。



## 2. 各部の名称とはたらき

⇒マークのところにくわしく説明してあります。



### 全体のコントロール

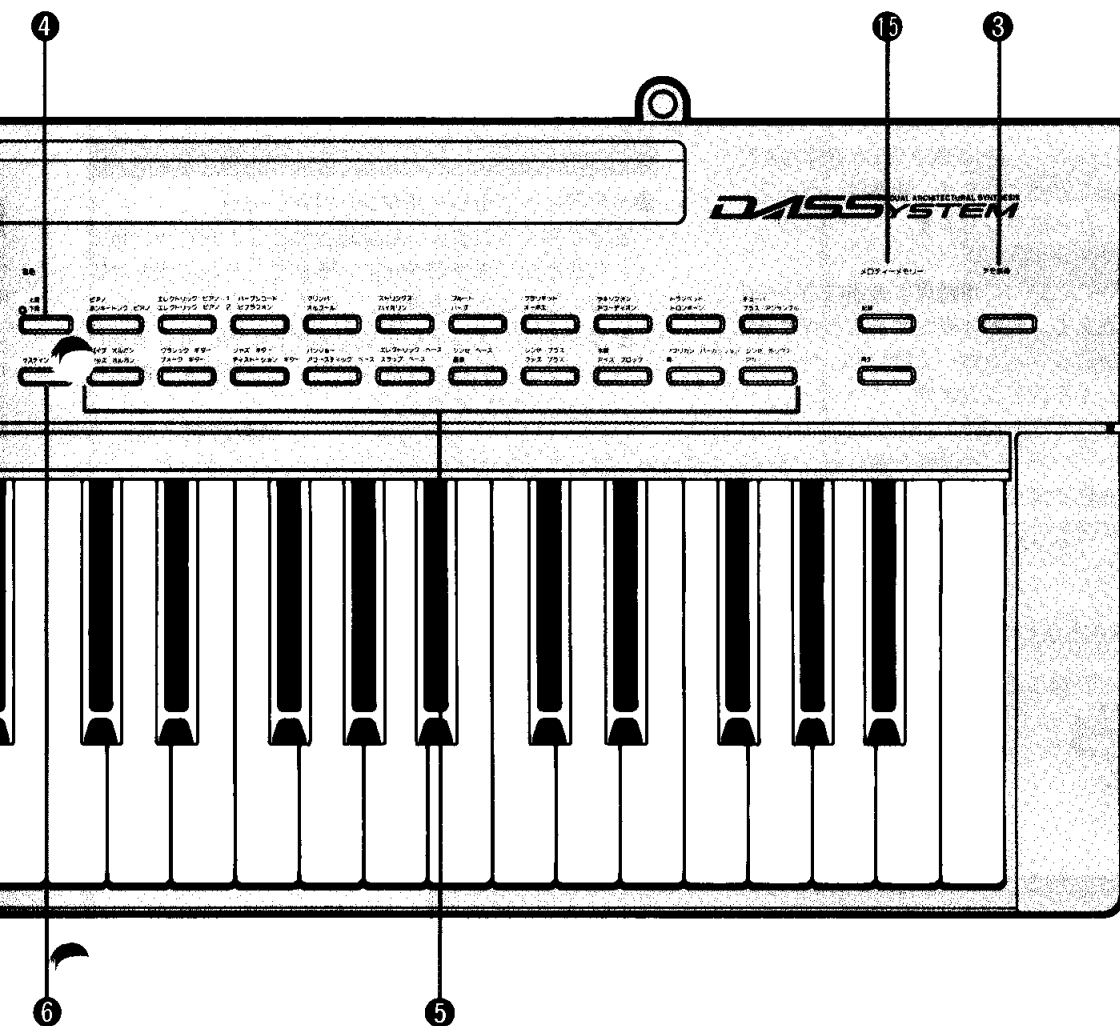
- ①電源スイッチ(⇒6ページ)  
電源を入れたり、切ったりするスイッチです。電源を入ると、⑧の[テンポ]ランプが点灯します。
- ②総合音量レバー(⇒6ページ)  
全体の音量を調節するためのレバーで、右にずらすほど音が大きくなります。
- ③デモ演奏ボタン(⇒6ページ)  
デモ演奏を聴きたい時は、このボタンを押すことによりスタートさせることができます。もう一度押すと止まります。

### ボイス(音色)

- ④上段/下段ボタン、下段ランプ(⇒6ページ)  
40種類の音色が、上段と下段に20音色ずつ分かれています。このボタンを押すことにより、演奏音の音色を上段の音色にするか、下段の音色にするか指定できます。下段ランプは、下段の音色にした場合に点灯します。
- ⑤音色ボタン(⇒6ページ)  
演奏音の音色を指定するためのボタンです。たとえば、④の[下段]ランプが消灯している状態で [ストリングス/バイオリン] ボタンを押すと、音色はストリングスになります。  
また、音色ボタンを2つ同時に押すと、デュアルボイスの状態になります。
- ⑥サスティンボタン(⇒7ページ)  
このボタンを押すと、演奏音に自然な余韻がつくようになります。そしてもう一度押すと、効果が解除されて元の状態に戻ります。

\*1: [自動伴奏]スイッチがシングルフィンガーまたはフィンガードの位置になっていると、ベース、コード、リズムからなる伴奏を鳴らすことが可能。ただしリズムは、オフまたはマニュアルベースの位置でも鳴らすことが可能です。

・シンクロ：同期を意味します。



## 自動伴奏(アカンパニメント)

### ⑦ 伴奏ボタン(⇨8ページ)

10種類の中から、リズム(伴奏)\*1の種類を選ぶためのボタンです。

### ⑧ テンポボタン、テンポランプ(⇨8ページ)

リズム(伴奏)の速さ(テンポ)を調節するためのボタンです。

### ⑨ 伴奏音量レバー(⇨8ページ)

リズム(伴奏)の音量を調節するためのレバーです。

### ⑩ スタート/ストップボタン(⇨7、8ページ)

リズム(伴奏)をすぐにスタートさせる時、または停止させる時に押します。リズムが止まっている時に押すとスタートし、スタートさせた後に押すと停止します。

### ⑪ シンクロスタートボタン(⇨8ページ)

④の[オートベースコード]用鍵盤を押すと同時にリズム(伴奏)をスタートさせる場合は、このボタンを押します。

### ⑫ イントロ/フィルインボタン(⇨8ページ)

イントロのパターンでリズムをスタートさせたい時、またはフィルインのパターンを入れる時に押します。リズムが止まっている時に押すとイントロからスタートし、スタートさせた後に押すとフィルインが入ります。

## 自動伴奏(オートベースコード)

### ⑧ 自動伴奏スイッチ(⇒9、10、13ページ)

演奏モードを指定するためのスイッチです。

#### シングルフィンガー

⑪の[オートベースコード]用鍵盤を指1本で押さえて、自動伴奏させることができます。伴奏は、ベース、コード、リズムから成り立ちます。

#### フィンガード

⑪の[オートベースコード]用鍵盤を普通のコードの押さえ方で押さえて、自動伴奏させることができます。伴奏はシングルフィンガーと同じで、ベース、コード、リズムから成り立ちます。

#### マニュアルベース

⑪の[オートベースコード]用鍵盤を弾くと、ベースパート向けの音色で鳴ります。どの音色で鳴るかは、伴奏(リズム)の選択で決まります。(左手でベースパートを弾くためのモードです。)

#### オフ

3種類のどの機能も使わない時は、この位置にします。

### ⑫ オートベースコード用鍵盤(⇒9、10、13ページ)

これらの鍵盤の役割は、演奏モードの指定(⑧)の[自動伴奏]スイッチの位置)によって決まります。

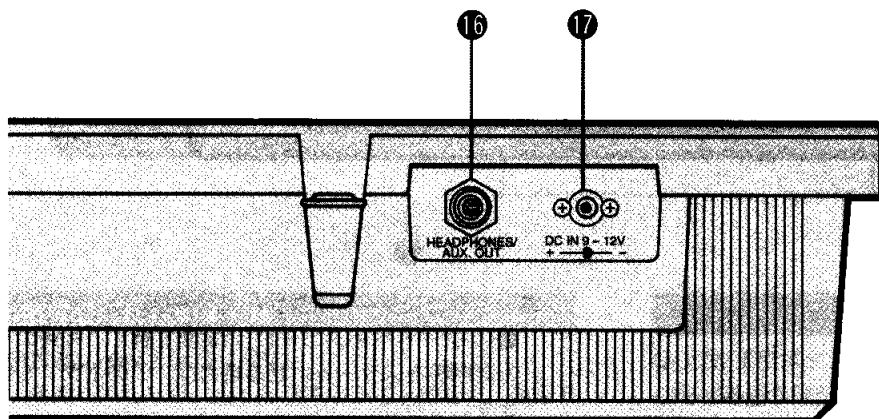
## メロディーメモリー

### ⑬ メロディーメモリーボタン(⇒17ページ)

自分で弾くメロディーを記録させることができ、後でそれを自由に再生できます。そして、それに合わせて演奏することもできます。

記録ボタン：メロディーを記録させる時に押します。

再生ボタン：記録させたメロディーを再生する時に押します。



## リアパネル

### ⑭ ヘッドホン/AUX出力端子(⇒18ページ)

PSR-7の音を出力する端子です。ヘッドホンを接続して夜間練習したり、キーボードアンプやステレオと接続して、より大きな音で鳴らすことができます。この端子にプラグを差し込むと、PSR-7のスピーカーからは音が出なくなります。

### ⑮ 電源アダプター接続用端子(⇒2ページ)

付属の電源アダプター・PA-1Bを接続するための端子です。PA-1Bを接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をとって使用できるようになります。

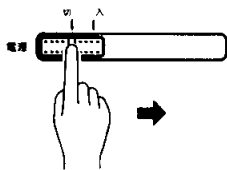
# 3. ステップ1 (基本編)

## 1. デモ演奏を聴いてみよう

PSR-7にはお手本としてデモンストレーションの曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。

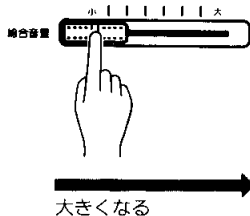
### ①電源スイッチをオン

電源スイッチをオンにして電源を入れます。電源を入れると、テンポランプが点灯します。



### ②音量の調節

総合音量レバーを“大”方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットします。

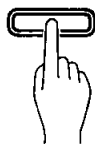


鍵盤を押して、音を出しながら調節してください。

### ③スタート

デモ演奏ボタンを押して、曲をスタートさせます。

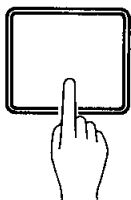
デモ演奏



### ④停止

デモ演奏の曲は、繰り返し再生されます。停止させる時は、スタート/ストップボタンまたはデモ演奏ボタンを押してください。

スタート/ストップ



または

デモ演奏



- ★デモ演奏の再生は、止めるまで何回でも繰り返されます。
- ★音色は、曲の進行に合わせて次々と切り替わります。

## 2. 好きな音色で弾こう

PSR-7には40種類の音色があります。いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

| 上段の音色 | ピアノ         | エレクトリックピアノ  | ハーブシコード    | マリンバ     |
|-------|-------------|-------------|------------|----------|
| 下段の音色 | ホンキートンクピアノ  | エレクトリックピアノ2 | ビブラフォン     | オルゴール    |
|       | ストリングス      | フルート        | クラリネット     | サクソフォーン  |
|       | バイオリン       | ハーブ         | オーボエ       | アコーディオン  |
|       | トランペット      | チューバ        | パイプオルガン    | クラシックギター |
|       | トロンボーン      | プラスアンサンブル   | ジャズオルガン    | フォークギター  |
|       | ジャズギター      | パンジョー       | エレクトリックベース | シンセベース   |
|       | ディストーションギター | アコースティックベース | スラップベース    | 風景       |
|       | シンセプラス      | 水風          | アフリカンパーカス  | シンセボックス  |
|       | ファズプラス      | アイスブロック     | 鳥          | アッ!      |

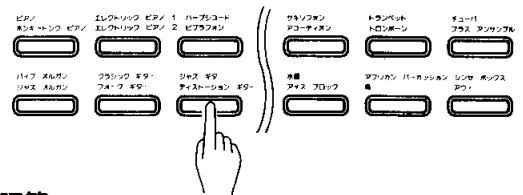
### ①上段/下段の指定

鳴らしたい音色が上段の音色か、下段の音色かを指定します。上段/下段ボタンを押すたびに上段、下段が繰り返されます。上段の音色にすると下段ランプは消灯、下段の音色にすると点灯します。



### ②音色の指定

鳴らしたい音色のボタンを押して指定します。



### ③音量調節

総合音量レバーで音量調節します。

### ④演奏

好きな曲を弾いてみましょう。



- ★いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。
- ★操作①と②の手順は、逆でもかまいません。
- ★同時発音数は8音(8音ポリフォニック)ですが、リズムをスタートさせたり、自動伴奏機能を使ってコードおよびベース音を鳴らしたり、デュアルボイス機能やメロディーメモリー機能を使うと、同時発音数は少なくなります。(21ページ参照)

### 3.音に効果を! (サスティン、デュアルボイス)

効果を実際にオンにして確かめてみましょう。

#### ●サスティン

サスティンは、演奏音に余韻を与える効果です。サスティンボタンを押してください。効果をオン/オフできます。



- ★コード音、ベース音、リズム音には、サスティン効果はかかりません。
- ★余韻の長さは音色ごとに異なります。
- ★音色を切り替えると、サスティン効果がオフになります。

#### ●デュアルボイス

デュアルボイスは、演奏に対して2つの音色が同時に(重なって)鳴る機能です。音色の組み合わせは自分で指定できます。組み合わせたい音色のボタン2つを、同時に押してください。たとえば、[下段]ランプが消灯している状態で[ストリングス/バイオリン]ボタンと[フルート/ハーブ]ボタンを同時に押すと、ストリングスとフルートの音色の組み合わせになります。

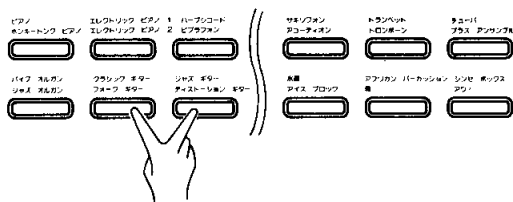
#### ①上段/下段の指定

上段/下段ボタンを押して、鳴らしたい音色が上段の音色か、下段の音色かを指定します。

- ★上段の音色と下段の音色を組み合わせることはできません。

#### ②音色の指定

鳴らしたい音色のボタン2つを、同時に押して指定します。



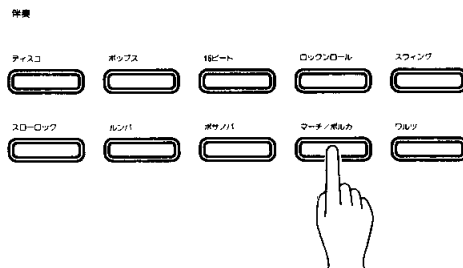
- ★コード音、ベース音、リズム音には、デュアルボイス効果はかかりません。
- ★デュアルボイス効果をオンにすると、演奏音の同時発音数はそれまでの半分になります。
- ★電源スイッチをオンしたり、音色ボタンを1つだけ押すと1音色の状態に戻ります。

### 4.リズムに合わせて弾こう

PSR-7には10種類のリズムがあります。いろいろなリズムに切り替えて、それに合わせて弾いてみましょう。

#### ①リズムの選択

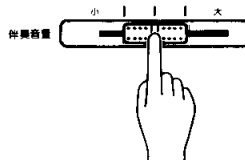
伴奏ボタンを押して、リズムを指定します。



- ★電源スイッチをオンにした時は、ディスコのリズムになっています。
- ★2つのボタンを同時に押して、いっしょに鳴らすことはできません。

#### ②リズム音の音量調節

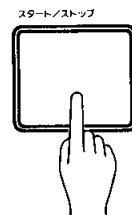
リズム音は総合音量レバーの設定によっても変化しますが、伴奏音量レバーによる設定でも変化します。必要であれば、伴奏音量レバーで音量調節してください。



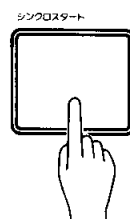
#### ③リズムのスタート

リズムをスタートさせます。スタート方法には3種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

- ・すぐにスタートさせる場合  
……スタート/ストップボタンを押す。



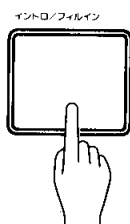
- ・演奏の開始と共にスタートさせる場合  
……シンクロスタートボタンを押す。





シンクロスタート待ちの時、テンポランプが4分音符のタイミングで点滅して、リズムの速さを示します。低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を弾くとスタートします。

- ・イントロのパターンからスタートさせる場合  
……イントロ/フィルインボタンを押す。



イントロパターンは1小節です。

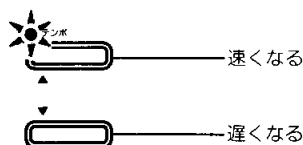
- ★演奏中にシンクロスタートボタンを押すとリズムが止まります。そして、オートベースコード用鍵盤を弾くと再びリズムが鳴り出します。ブレイクの時に便利です。
- ★リズムをスタートさせると、同時発音数が少なくなります。

#### ④リズムの速さ調節

テンポランプを見ながら、♩ = 40~280の範囲内35ステップの中で指定できます。音を聴きながら設定してください。

1分間の拍数 ♩ = 40、48、56、64、70、76、82、88、92、96、100、  
104、108、112、116、120、126、132、138、  
144、152、160、168、176、184、192、200、  
208、216、226、236、246、256、268、280

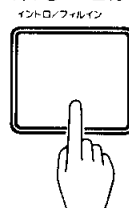
テンポランプが速さに合わせて点滅



- ★電源スイッチをオンにした時は、いつも標準テンポ(♩ = 120)に戻っています。また、テンポボタンの▲と▼を同時に押して標準テンポに戻すこともできます。

#### ⑤フィルイン

イントロ/フィルインボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。



- ★フィルインは、最長で1小節です(押すタイミングで長さが異なります)。また、押し続けるとフィルインのパターンが繰り返されます。
- ★フィルインパターンが鳴っている最中にもう一度押すと、その時点で普通のパターンに戻ります。

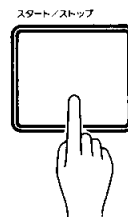
#### ⑥別のリズムへの切り替え

演奏中、別のリズムに切り替えることもできます。

- ★リズムを切り替えても、切り替え前のテンポが維持されます。

#### ⑦停止

リズムを停止させます。スタート/ストップボタンを押してください。



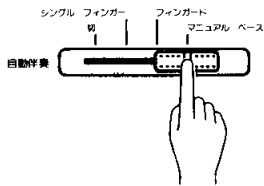
## 5. 低音側でベースパートの演奏をしよう (マニュアルベース)

マニュアルベース機能を使うことにより、低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)の音を、ベースパート向けの音色にすることができます。

ベースパート音色は、どの伴奏(リズム)を選択したかによって決まります。もちろん、高音側の音色は通常通り自由に指定できます。

### ① マニュアルベース演奏可能状態に

自動伴奏スイッチをマニュアルベースの位置に切り替えます。



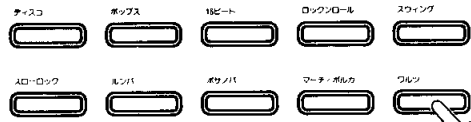
★マニュアルベースの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

### ② リズムの選択

リズムを鳴らす場合は、演奏する曲に合ったリズムを指定します。これにより、ベースパートの音色が決まります。

リズムを鳴らさない場合は、伴奏ボタンを1つずつ押していき、低音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにするベースパート用の音色を選びます。

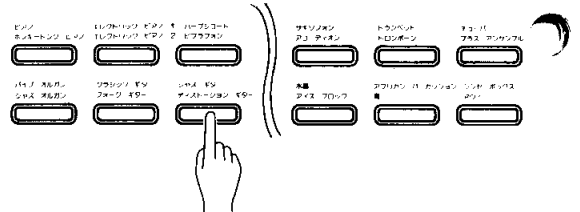
伴奏



### ③ 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、音色ボタンで指定します。

音色



★デュアルボイスの状態にすると、同時発音数が少なくなります。

### ④ 音量調節

低音側の音量を伴奏音量レバーで調節できますので、この操作で高音側とのバランスをとってください。そして、全体的な音量は総合音量レバーで調節します。

★同時発音数については、21ページをご覧ください。

## ● 練習曲 「青い影」のイントロを弾いてみましょう。左手(低音側)でベースパート、右手(高音側)でメロディーパートを弾きます。

### 青い影 (A WHITER SHADE OF PALE)

作曲: K. Reid & G. Brooker

#### ● セッティング

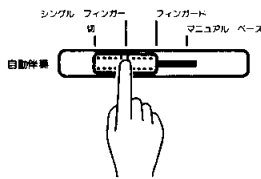
| リズム     | テンポ | 自動伴奏     | 高音側音色   |
|---------|-----|----------|---------|
| ロックンロール | 92  | マニュアルベース | ジャズオルガン |

## 6. シングルフィンガーコードで楽々演奏

シングルフィンガー機能を使うと、コードを押さえなくても、簡単にコード(和音)+ベース音を鳴らすことができます。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2,3鍵押さえるだけでOKです。コード音+ベース音はオートベースコード用鍵盤を弾いて鳴らします。さらにこの状態でリズムをスタートさせると、ベース音、コード音、リズム音から成る自動伴奏を鳴らすことができます。

### ① シングルフィンガーコード演奏可能状態に

自動伴奏スイッチをシングルフィンガーの位置に切り替えます。



★シングルフィンガーの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

### ② 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、音色ボタンで指定します。

★デュアルボイスの状態にすると、同時発音数が少なくなります。

★低音側(オートベースコード用鍵盤)を弾いた時に鳴る音の音色は、指定したリズムの種類によって自動的に決まります。

### ③ 伴奏の指定

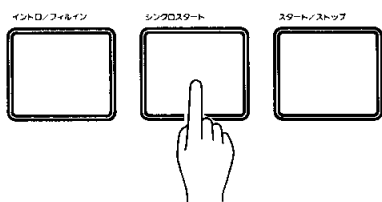
和音だけでなく、自動伴奏音全てを鳴らす場合は、伴奏(リズム)を指定します。

### ④ 音量調節

低音側の音量を伴奏音量レバーで調節できますので、この操作で高音側とのバランスをとってください。そして、全体的な音量は総合音量レバーで調節します。

### ⑤ スタート

自動伴奏を鳴らす場合は、スタート方法を選択します。スタート方法には、スタート、シンクロススタート、イントロスタートの3種類があります。



### ⑥ 演奏の開始

演奏を開始します。なお、自動伴奏は低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を押した時点でスタートします。

### ★ 鍵盤の押し方

#### メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

#### マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC<sub>m</sub>の場合なら、



のように押します。

#### セブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC<sub>7</sub>の場合なら、



のように押します。

#### マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC<sub>m7</sub>の場合なら、



のように押します。

★コードを変える時、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★自動伴奏の場合は、低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★上記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

- ・MaJ7(メジャー セブンス)
  - ・aug(オーギュメント)
  - ・dim(ディミニッシュ)
  - ・6th(シックス)
  - ・sus4(サスフォー)
  - ・m7-5(マイナー セブンス フラット ファイブ)
  - ・m6(マイナー シックス)
  - ・7sus4(セブンス サスフォー)
  - ・7-5(セブンスフラット ファイブ)
- } →メジャーコード
- } →マイナーセブンスコード
- } →セブンスコード

### ⑦ 演奏の終了

演奏を終了します。なお自動伴奏(リズム)は、スタート/ストップボタンを押すと終了します。

# シングルフィンガーコード一覧表

検出できるシングルフィンガーコードの一覧表です。  
これら以外は、前ページで示したように置き換えて押してください。

## メジャーコード

そのコード名の鍵盤を押します。

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| C                              |  |
| C <sup>♯</sup> /D <sup>♭</sup> |  |
| D                              |  |
| D <sup>♯</sup> /E <sup>♭</sup> |  |
| E                              |  |
| F                              |  |
| F <sup>♯</sup> /G <sup>♭</sup> |  |
| G                              |  |
| G <sup>♯</sup> /A <sup>♭</sup> |  |
| A                              |  |
| A <sup>♯</sup> /B <sup>♭</sup> |  |
| B                              |  |

## マイナーコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| Cm                                |  |
| C <sup>♯</sup> m/D <sup>♭</sup> m |  |
| Dm                                |  |
| D <sup>♯</sup> m/E <sup>♭</sup> m |  |
| Em                                |  |
| Fm                                |  |
| F <sup>♯</sup> m/G <sup>♭</sup> m |  |
| Gm                                |  |
| G <sup>♯</sup> m/A <sup>♭</sup> m |  |
| Am                                |  |
| A <sup>♯</sup> m/B <sup>♭</sup> m |  |
| Bm                                |  |

### セブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

|  |  |
|--|--|
| C <sub>7</sub>   |  |
| C <sup>#</sup> <sub>7</sub> /D <sup>b</sup> <sub>7</sub> |  |
| D <sub>7</sub>   |  |
| D <sup>#</sup> <sub>7</sub> /E <sup>b</sup> <sub>7</sub> |  |
| E <sub>7</sub>   |  |
| F <sub>7</sub>   |  |
| F <sup>#</sup> <sub>7</sub> /G <sup>b</sup> <sub>7</sub> |  |
| G <sub>7</sub>   |  |
| G <sup>#</sup> <sub>7</sub> /A <sup>b</sup> <sub>7</sub> |  |
| A <sub>7</sub>   |  |
| A <sup>#</sup> <sub>7</sub> /B <sup>b</sup> <sub>7</sub> |  |
| B <sub>7</sub>   |  |

### マイナーセブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

|  |  |
|--|--|
| Cm <sub>7</sub>  |  |
| C <sup>#</sup> m <sub>7</sub> /D <sup>b</sup> m <sub>7</sub> |  |
| Dm <sub>7</sub>  |  |
| D <sup>#</sup> m <sub>7</sub> /E <sup>b</sup> m <sub>7</sub> |  |
| Em <sub>7</sub>  |  |
| Fm <sub>7</sub>  |  |
| F <sup>#</sup> m <sub>7</sub> /G <sup>b</sup> m <sub>7</sub> |  |
| Gm <sub>7</sub>  |  |
| G <sup>#</sup> m <sub>7</sub> /A <sup>b</sup> m <sub>7</sub> |  |
| Am <sub>7</sub>  |  |
| A <sup>#</sup> m <sub>7</sub> /B <sup>b</sup> m <sub>7</sub> |  |
| Bm <sub>7</sub>  |  |

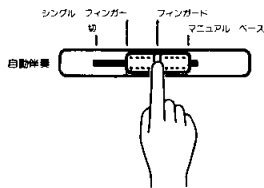
# 4. ステップ2(活用編)

## 1. フィンガードコードで演奏

フィンガード機能を使って、自動伴奏させてみましょう。フィンガード機能を使う場合は、普通のコードの押え方で低音側の鍵盤を弾きます。なおフィンガード機能を使った場合は、シングルフィンガー機能を使った場合に比べて、より多くのコードを使い分けられることができるため、演奏しようとする曲が持つ本来の微妙な雰囲気表現しやすくなります。

### ① フィンガードコード演奏可能状態に

自動伴奏スイッチをフィンガードの位置に切り替えます。



★フィンガードの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

### ② 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、音色ボタンで指定します。

★デュアルボイスの状態にすると、同時発音数が少なくなります。

★低音側(オートベースコード用鍵盤)を弾いた時に鳴る音の音色は、指定した伴奏によって自動的に決まります。

### ③ 伴奏の指定

自分が演奏しようとする曲に最も適した伴奏を指定します。

### ④ 音量調節

低音側の音量を伴奏音量レバーで調節できますので、この操作で高音側とのバランスをとってください。そして、全体的な音量は総合音量レバーで調節します。

### ⑤ スタート

スタート方法を選択します。スタート方法には、スタート、シンクロスタート、イントロスタートの3種類があります。

### ⑥ 演奏の開始

演奏を開始します。なお、自動伴奏は低音側の鍵盤(オートベースコード用鍵盤)を押した時点でスタートします。

★低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★フィンガードの場合は、次の7種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(15、16ページの“フィンガードコード一覧表”を参照)

- ・メジャー
- ・マイナー
- ・セブンス
- ・マイナー セブンス
- ・メジャー セブンス
- ・マイナー セブンス フラット ファイブ
- ・セブンス サスフォー

★7種類のコード以外や押鍵ミスの場合は、正しい和音で鳴らなくなります。

★演奏中にシンクロスタートボタンを押すと自動伴奏が止まり、低音側の鍵盤を押すと再びスタートします。ブレークの時に便利です。

### ⑦ 演奏の終了

スタート/ストップボタンを押して演奏を終了します。

# ●練習曲

シングルフィンガーコードまたはフィンガードコードで、「ラブ・ミー・テンダー」を弾いてみましょう。

## ラブ・ミー・テンダー (LOVE ME TENDER)

作詞・作曲：E. Presley & V. Matson

### ●セッティング

| リズム    | テンポ | 自動伴奏               | 高音側音色  |
|--------|-----|--------------------|--------|
| スローロック | 88  | シングルフィンガーまたはフィンガード | クラリネット |

シングル  
フィンガー  
コード  
フィンガード  
コード

The musical score consists of four staves of music. Above each staff are guitar chord diagrams for both single-finger and fingered chords. The chords are: C, C, D7, G7, C, D7, G7, C, E7, Am, C7, F, Fm, C, A7, D7, G7, C.

日本音楽著作権協会(出)許諾第8970184-901号  
Copyright © 1956 by ELVIS PRESLEY MUSIC, INC.  
Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

# フィンガードコード一覧表 \* マークの付いたコードは転回形、それ以外は全て基本形で書かれています。

## メジャー コード



## マイナー コード



## セブンス コード



## マイナー セブンス コード

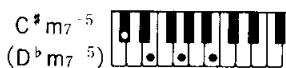




メジャー セブンス コード



マイナー セブンス フラット  
ファイブ コード



セブンス サスフォー  
コード



## 2. メロディーを記録させよう (メロディーメモリー)

自分で弾くメロディーを記録させることができます。  
メロディーを記録させておけば、それを再生しながら他のパートを演奏することができますので、数パートで構成された曲でも演奏しやすくなります。

★記録させることができるのは、リズムをスタートさせてから停止させるまでの単音のメロディーです。最高で57音符記録させることができます。

★記録させることができるのは、メロディーのみです。たとえば、リズムの種類や音色、テンポなども記録されません。

★記録後、電源スイッチをオフにすると記録させたメロディーは消えてしまいます。

### メロディーの記録

#### ①リズムの選択

曲に合ったリズムを選んでください。

★選んだリズムは記録されません。したがって、再生時と記録時のリズムは異なったものでもかまいません。

#### ②演奏モードの指定

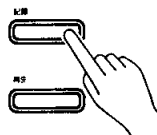
自動伴奏スイッチで、演奏モードを指定します。演奏しやすいモードにしてください。

★オフにした時は全鍵盤が記録の対象になりますが、それ以外のモードの場合はオートベースコード用鍵盤が低音側の鍵盤になりますので、高音側のみが対象となります。

#### ③記録スタート待ちの状態に

メロディーメモリーの記録ボタンを押します。すると、記録スタート待ちの状態になります。

メロディーメモリー



★記録スタート待ちの状態にするとメトロノーム音が1拍ごとに鳴り出し、テンポランプも1拍ごとに点滅します。

★この操作をした時点で、シンクロスタート待ちの状態になります。

#### ④テンポ調節

演奏しやすい速さにします。

#### ⑤必要に応じてスタート方法を変更

シンクロスタートをやめて、スタートやイントロスタートに変更することもできます。変更する場合はそれぞれのボタンを押しますが、ボタンを押した時点から記録が開始されます。

## ● 記録曲の例

### 聖者の行進

### ⑥演奏の開始

シンクロスタートの場合には、演奏を開始した時点から記録が開始されます。リズムに合わせてメロディーを弾いてください。

★スタックカート奏法での演奏、16音符以下の細かな音符は正確に記録されません。

### ⑦演奏の終了

スタート/ストップボタンを押します。するとリズムが止まり、記録完了です。

★メロディーメモリーの再生ボタンを押して、記録を完了させることもできます。

★記録容量の限界に達すると、記録がそこで強制的に完了します。

★記録しなおすと、前の内容が消えます。

★演奏終了後、記録を③の操作からやり直すこともできます。

### メロディーの再生

#### ①再生スタート

メロディーメモリーの再生ボタンを押します。すると、再生がスタートします。

メロディーメモリー



#### ②必要に応じて……

再生音に合わせて、演奏することができます。

#### ③再生の終了

最後まで再生されると自動的に停止し、再生スタート待ちの状態になります。完全に停止状態に戻したい場合は、スタート/ストップボタンまたはメロディーメモリーの再生ボタンを押してください。完全に停止させると、テンポランプが点滅から点灯に変わります。

★リズムの種類や音色、テンポを変えて再生させたり、フィルインを入れることも可能です。

★同時発音数には制限があります。

## 3. 他の機器と接続するには？

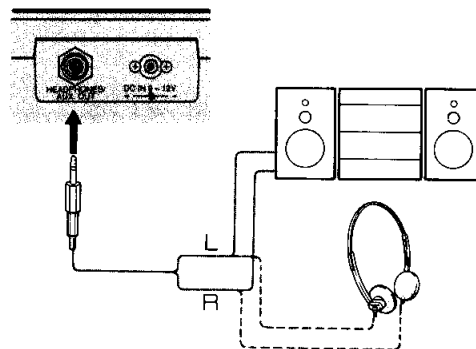
リアパネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。

#### ・ヘッドホン/AUX出力端子

この端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。また、ヘッドホン接続して外に音を出さずに演奏できます。

※ステレオに接続した時はPSR-7の総合音量レバーは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

※この端子にプラグを差し込むと、PSR-7のスピーカーからは音が出なくなります。



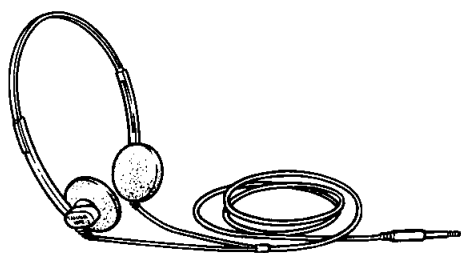
#### ・電源アダプター接続用端子 (2ページ参照)

付属の電源アダプター・PA-1Bを接続するための端子です。

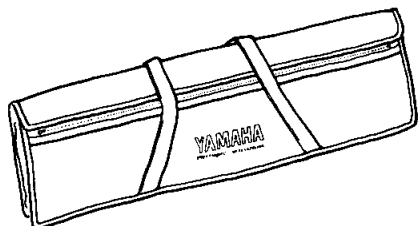
# 5.資料

## 1.オプション(別売品)のご紹介

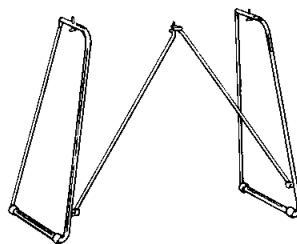
ステレオヘッドホン・HPE-3 ¥3,000



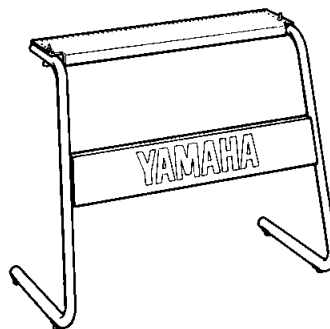
専用ソフトケース・SOC-31 ¥4,000



スタンド・L-2 ¥6,000



スタンド・L-4 ¥9,000



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

## 2. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思ったら、この表を見てください。

| 現象                             | 原因                                     | 解決法   |
|--------------------------------|--|---|
| 電源スイッチをオンまたはオフにした時、“ポツン”と音がする。 | 電気が流れたため。                              | ご心配いりません。   |
| スピーカーから全く音が出ない。                | 音量が下がっている。                             | 総合音量レバーを上げてください。                                      |
|                                | ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。             | プラグを抜いてください。  |
| リズムがスタートしない。リズムの音が出ない。         | 伴奏音量レバーが下がっている。                        | 伴奏音量レバーを上げてください。                                      |
|                                | スタートさせていない。                            | スタートボタン等を押してください。                                     |
|                                | シンクロススタート待ちの状態になっている。                  | オートベースコード用鍵盤を押してください。                                 |
| 低音側の音が出ない。                     | 伴奏音量レバーが下がっている。                        | 伴奏音量レバーを上げてください。                                      |
|                                | 高音側を弾いている。                             | オートベースコード用鍵盤を押してください。                                 |
| 自動伴奏されない。                      | シングルフィンガーまたはフィンガードの状態になっていない。          | 自動伴奏スイッチを、シングルフィンガーまたはフィンガードの位置にしてください。               |
|                                | フィンガードの状態、シングルフィンガーの押さえ方をしている。         | 15ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。                         |
| 途中から音階がおかしくなる。                 | オートベースコード用鍵盤を押している。                    | シングルフィンガーやフィンガード、マニュアルベースの状態になっているため、そのようになります。       |
| 思ったとおりの和音が出ない。                 | 指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。              | 鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください。                      |
|                                | 正確に押さえしていない。                           | 11ページの“シングルフィンガーコード一覧表”、15ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。 |
| マニュアルベース機能をオンできない。             | メロディーメモリー機能を働かせている。またはデモ演奏が再生状態になっている。 | マニュアルベース機能は、メロディーメモリー機能やデモ演奏を働かせている時、働かせることができません。    |
| 押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。               | 同時に鳴らせる音数には制限があります。                    | 制限数以上の音は、鳴らないしくみになっています。                              |
| 選んでいない音色で鳴る。                   | 自動伴奏スイッチをオフ以外の位置にしている。                 | 低音側の音色は高音側の音色と異なります。                                  |
| サスティンおよびデュアルボイス効果がかからないパートがある。 | かかるパートが決まっているため。                       | リズム音、コード音、ベース音には、効果はかかりません。                           |
| 記録させておいたメロディーが消えている。           | 電源を切った。                                | 電源を切ると消えます。   |
| パネル上のランプが暗くなったり、誤動作がおきたりする。    | 乾電池が寿命のため。                             | 6本共新しい乾電池と交換してください。                                   |

### 3.仕様

- 鍵盤 一段鍵盤49鍵(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>)
- ボイス(40音色)  
音色ボタン  
ピアノ/ホンキートンクピアノ、エレクトリックピアノ1/エレクトリックピアノ2、ハーブシコード/ビブラフォン、マリンバ/オルゴール、ストリングス/バイオリン、フルート/ハーブ、クラリネット/オーボエ、サキソフォン/アコーディオン、トランペット/トロンボーン、チューバ/プラスアンサンブル、パイプオルガン/ジャズオルガン、クラシックギター/フォークギター、ジャズギター/ディストーションギター、バンジョー/アコースティックベース、エレクトリックベース/スラップベース、シンセベース/風景、シンセベース/ファズベース、水晶/アイズブロック、アフリカンパーカッション/鳥、シンセボックス/アウ!
- 上段/下段ボタン、下段ランプ
- 効果 サスティン、デュアルボイス
- ボリューム 伴奏音量レバー、総合音量レバー
- アカンパニメント(10種類) 伴奏ボタン  
ディスコ、ポップス、16ビート、ロックンロール、スイング、スローロック、ルンバ、ボサノバ、マーチ/ポルカ、ワルツ
- リズムコントロール テンポ(▲、▼、ランプ付)、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/フィルイン
- 自動伴奏スイッチ オフ/シングルフィンガー/フィンガード/マニュアルベース
- メロディーメモリーコードシーケンサー 再生、記録 音符記録数(最大):57音符
- その他コントロール 電源スイッチ、デモ演奏
- 付属端子 ヘッドホン/AUX出力端子、電源アダプター接続用端子
- メインアンプ 2.5W×1
- スピーカー 12cm(4Ω)×1
- 定格電源 DC9V:電源アダプター・PA-1B 単1乾電池6本
- 消費電力 電源アダプター使用時:6W 乾電池使用時:3W
- 外装仕上げ スチロール樹脂・アクリルラッカー塗装
- 寸法(譜面立て取り外し時) (間口)861mm×(奥行)289mm×(高さ)94mm
- 重量(乾電池重量含まず) 3.8kg
- 付属品 電源アダプター・PA-1B、譜面立て、和文シート

### 4.発音数一覧表

ここでは、各モードにおける同時発音数を表にします。

○:機能オン、×:機能オフ

| リズム | シングルフィンガー/<br>フィンガード | マニュアル<br>ベース | 同時発音数                  |
|-----|----------------------|--------------|------------------------|
| ×   | ×                    | ×            | 演奏8(4)音                |
| ○   | ×                    | ×            | 演奏5(2)音                |
| ×   | ○                    | ×            | 高音側演奏4(2)音             |
| ○   | ○                    | ×            | 高音側演奏4(2)音、コード3音、ベース1音 |
| ×   | ×                    | ○            | 高音側演奏4(2)音、低音側ベース演奏1音  |
| ○   | ×                    | ○            | 高音側演奏4(2)音、低音側ベース演奏1音  |

( )内の音数は、デュアルボイス時の最大同時発音数を表わします。

## 5.アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網にお問い合わせください。

### ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

### ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいなと思ったら”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けしますのでご注意ください。)

### ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいませんように。)

### YAMAHA電気音響製品サービス拠点

[修理受付および修理品お預り窓口]

|                 |  |
|-----------------|--|
| 北海道電音サービスセンター   | 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50<br>ヤマハセンター内<br>TEL.011-513-5036      |
| 仙台電音サービスセンター    | 〒983 仙台市若林区卸町5-7<br>仙台卸商共同配送センター3F<br>TEL.022-236-0249     |
| 東京電音サービスセンター    | 〒211 川崎市中原区木月1184<br>TEL.044-434-3100                      |
| 新潟電音サービスステーション  | 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F<br>TEL.025-243-4321            |
| 浜松電音サービスセンター    | 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ柳宮竹工場内<br>TEL.0534-65-6711               |
| 名古屋電音サービスセンター   | 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2<br>ヤマハ柳名古屋流通センター<br>TEL.052-652-2230  |
| 大阪電音サービスセンター    | 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内<br>TEL.06-877-5262               |
| 京都電音サービスステーション  | 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483<br>第2マスイビル3F<br>TEL.075-361-6470 |
| 神戸電音サービスステーション  | 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ株神戸店内<br>TEL.078-321-1195            |
| 四国電音サービスステーション  | 〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ株高松店内<br>TEL.0878-22-3045                |
| 広島電音サービスセンター    | 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39<br>TEL.082-874-3787              |
| 九州電音サービスセンター    | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4<br>TEL.092-472-2134                  |
| [本社]<br>電音サービス部 | 〒435 浜松市上西町911<br>TEL.0534-65-1158                         |

●住所および電話番号は変更になる場合があります

|             |  |
|-------------|--|
| 北海道支店 LM営業課 | 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター<br>TEL.011-512-6113      |
| 仙台支店 LM営業課  | 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10<br>住友生命仙台青葉通ビル<br>TEL.022-222-6140 |
| 東京支店 特販営業課  | 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル<br>TEL.03-572-3130           |
| 名古屋支店 LM営業課 | 〒460 名古屋市中区錦1-18-28<br>TEL.052-201-5150                |
| 大阪支店 特販営業課  | 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9<br>心齋橋プラザビル東館<br>TEL.06-252-7491  |
| 広島支店 LM営業課  | 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18<br>TEL.082-244-3749                |
| 九州支店 LM営業課  | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4<br>TEL.092-472-2130              |
| 本社 電子楽器営業部  | 〒430 浜松市中沢町10-1  |
| ポータブル楽器営業課  | TEL.0534-60-3271                                       |

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION  
ヤマハ株式会社

YAMAHA feelin' club



T4960693042403